



サポーターズ・ニュース

平成25年度 上半期活動報告①

サポーターズ・ニュース9月号でお願いした「活動報告」が届きましたので紹介します。

前橋市児童文化センター 環境冒険隊(前橋市)

☆主な活動内容

- ・ 4月20日 自然の調べ方
- ・ 5月11日 ガスティック株式会社による「空気のごとの調べ方」
- ・ 5月18日 サバイバル体験（火おこし、飲み水づくり、食べられる野草探し）
- ・ 5月25日 ぐんま昆虫の森で春の里山の生きもの調査
- ・ 6月1日 水にすむ生きもの調べ
- ・ 6月22日 勢多農林高校でのバイオテクノロジーを使った自然保護活動体験
- ・ 6月29日 ペットボトルでミニ生態系作成
- ・ 7月6日 自然の川で釣り体験
- ・ 7月13日 榛名山で草原の生きもの調査
- ・ 8月3日 水せい生物による水質調査
- ・ 8月31日 群馬県こどもエコクラブ学習会参加
- ・ 9月14日 勢多農林高校演習林での間伐体験とツリーイング体験
- ・ 10月19日 児童文化センターむつみ川の清掃活動



<半年を振り返って>

環境冒険隊では『自分でやってみること』を大切にしています。

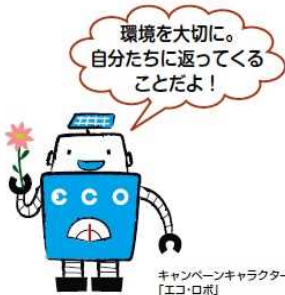
たくさんの専門家の先生に教えてもらいながら、山や川、町の中、様々なところに行き、たくさんの発見をしています。

これからも自然の中にある楽しいことや起こっている問題について考えていきたいです。

8月31日に実施した「おもしろ体験してみ隊」の様子が10月20日の上毛新聞「風っ子・環境キャンペーン」に掲載されましたので紹介します。



この日は、植物ウォッチングラリーとネイチャーゲームをしました。植物ウォッチングラリーは、キャンプ場内を散策しながら6カ所のポイントで担当係員からクイズのヒントとなる話を聞いたり写真、身近な木や植物を使ったゲームをしたりしながら、9つのクイズに答えて得点を競うもの。木の表面を触って



環境を大切に。自分たちに返ってくるんだよ!

種類を当てたり、目隠しをして異なる植物の匂いを嗅いだり、シロツメグサの名前の由来や、ヨモギの葉の思わぬ効能などを聞いたり、クイズを通して身近な自然に接するうちに環境への意識が高まったようです。地球防衛隊の佐藤優和さん（高崎・北小3年）は植物の匂いはみんな違う。匂いで種類を当てるのが面白かったとうれしそう。環境冒険隊の高橋広太君（前橋・永明小5年）は「紙も家も木からできている。自然を大切にしなければと思った」と参加した感想を話してくれました。

「こどもエコクラブ」は、3歳から高校生までが参加できる環境活動のクラブです。環境を大切にすることを意識を持ち、環境に優しい暮らし方を実践することを目的としています。「群馬県こどもエコクラブ」（城田博巳会長）には、現在28クラブ2440人が登録されていて、自然観察やリ

サイクル活動などのテーマに、それぞれが取り組んでいます。夏の学習会と冬の交流会には毎年たくさんの方が集合しますが、今年「県立北毛青少年自然の家」で開かれた夏の学習会には、7クラブ78人が参加しました。

この日は、植物ウォッチングラリーとネイチャーゲームをしました。植物ウォッチングラリーは、キャンプ場内を散策しながら6カ所のポイントで担当係員からクイズのヒントとなる話を聞いたり写真、身近な木や植物を使ったゲームをしたりしながら、9つのクイズに答えて得点を競うもの。木の表面を触って

触って嗅いで、植物の種類当て

高山村でこどもエコクラブ学習会

平成25年度こどもエコクラブからの情報！！

【壁新聞および絵日記の募集】がありました。

応募についての詳細なご案内は各クラブに送付されていると思いますが、ふるってご参加をお願いします。

なお、群馬県こどもエコクラブ交流会においても壁新聞の展示を予定しています。

1月10日までに群馬県事務局に届けていただくか、交流会当日に交流会会場に届けていただければ全国事務局に送付します。ご承知おきください。

今年度も1月18日(土)前橋市児童文化センターを開場に「第18回 群馬県こどもエコクラブ交流会」を実施します。交流会参加申込みについての文書をお送りしましたので、ご参加くださいますようお願いいたします。申込みの締め切りは11月18日です。

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1
群馬県環境森林部環境政策課内
こどもエコクラブ群馬県事務局
Tel:027-226-2827
Fax:027-243-7702
E-mail: kondo-yutaka@pref.gunma.lg.jp